



コロナ
飛んで
けー！

わかば会議室が生協病院にじのこ保育所のこどもたちの臨時保育所に。新聞紙をちぎっては投げ、ストレス発散！大人もやりたいですね。



トイレ便り 4月の壁紙は 桜

コロナのためにお花見が出来ずがっかりでしたが「大丈夫、わかばの桜の木が開花しているよ」というと笑みがこぼれ「ちいさくても可愛い、可愛い。どこの桜よりきれい」と言ってくれました。(写真表面参照)

<暮らしのひとコマ>

ある利用者さんですが、わかばで毎日提供させて頂いている食事を必ず一口程残されます。どんなメニューであっても、たとえ好物であったとしても必ず一口程残されるのです。1年以上続くので、直接理由を尋ねたところ「食事を残すのが作法」と言われるのです。食事を残すのが作法？私としては『残さないのがマナーである』と思っています。

気になり、調べてみたところ…理由がわかりました。それは中国の食事の作法のようです。中国では一口程残すことは「もう十分頂きました。」「お腹いっぱいです。」という意味があるそうです。逆に全て食べてしまうと「満腹ではないのか？」「満足していないのか？」と思われてしまい、希望していないのにおかわりを提供されることがあるそうです。

一つ賢くなりました。今は海外との交流が盛んなグローバルな時代です。海外の作法も勉強するのもよいかもしれません。(T・M)



4月1日の
花見弁当

毎月1日はお赤飯の日。本日の花見弁当は、鯖(さわら)の西京焼き、野菜の炊き合わせ、菜の花の辛し和え、花餅、味噌汁と**春色**満載！おいしかったです(管理栄養士)

編集後記
日を追うことに暖かくなってまいりました。今年には暖冬の影響もあり、先月末から和歌山でも桜が咲き始め見頃を迎えました。開花が早いとその分、散ってしまうのも早いという事で少し寂しい気もします。さて、四月に入り、新生活を始める方は新しい環境への期待と不安が入り混じっているのではないのでしょうか。社人になり数年経つと、新しい環境に身を置く機会も少なくなり、年度が変わろうと普段通りの日々を送っています。この「いつもと変わらない」ということが実はとても有難い事だなと感じています。争いや心配事なく、穏やかに過ごしたいものです。今年度もどうぞよろしくお願ひ致します(H・Y)